トーカイグループのDNAを次世代へとつなぎ、さらなる飛躍を

Top Message

代表取締役会長
小野木（おのぎ） 孝二（こうじ）

お客様最優先のレンタルビジネスで、挑戦を重ねて

当社グループは1955年の創業以来、お客様の声に真摯に耳を傾け、各時代の社会課題に向き合いながら事業を展開してきました。寝具のレンタルから事業を開始し、医療機関向けのリネンサプライ、環境美化用品のレンタルを行う「リースキン」、介護用品のレンタルに至るまで、レンタルというビジネスモデルによって事業領域を切り拓いてきたのです。「所有しなくても必要な時に使用できる」というレンタルによる利便性は、近年ますます一般的な価値観として浸透しており、当社のビジネスを今後も支える柱だと感じています。

お客様を最優先とする姿勢も、当社のDNAだと考えています。お客様と真摯に向き合い続けることでしか、信頼は得られません。いつでも契約をやめることができるレンタルというビジネスだからこそ、信頼が真に築くべき基盤であることはいうまでもありません。お客様にとって必要なニーズを捉え、新たな技術や製品、サービスを提案する。それによって新たな事業分野の開拓も実現してきました。

こうしたDNAを受け継ぎ、その真価を発揮し続けるためには、挑戦する姿勢が欠かせません。どんな事業も導入期から成長期を経て成熟期に至り、いつかは衰退します。この未来を直視して、既存事業が順調なうちに新たな事業を創出する必要があるのです。開始当初はうまくいかず赤字でも、将来の売上や利益につながる「健全な赤字事業」であれば、会社は永続していくことができると信じています。

DNAを受け継ぎ挑戦を続けるのは“人”です。当社グループでは人材の育成にも注力しており、人として正しい判断ができるような、人間性を高めることを目指しています。豊かな人間性を培いながら市場について学び、お客様に加えてステークホルダーにも目配りができるようになれば、必要な判断力も磨かれます。このような人材にはすぐになれるわけではなく、時間をかけて育むことで、自ら行動する人材を増やしていきたいと考えています。

「清潔と健康」を軸に社会課題に向き合い、貢献する

これから日本はさらに高齢化が進行していきます。施設での介護にもある種の限界があり、各々の地域で「在宅介護」を担うサービスが増えていくことでしょう。そうした変化のなかで、当社が民間企業としてできることは少なくないはずです。現在介護用品のレンタルをご利用いただいている方が10万人以上いらっしゃいます。まずはこのご利用者本人やご家族に向けて、健康で自立した生活を送るためのサポートをしていきたいと考えています。

また高齢化が進むにつれて「人手不足」も深刻化しています。さらに新型コロナ感染症のパンデミックを経て、見た目だけではない清潔さを求めるニーズが高まっているように、「清潔と健康」の重要性がさらに注目されています。こうした現在の社会課題の変化に合わせて、当社の各種サービスで貢献していきたいと考えています。

これからも、社会のニーズを感じ取り、危機感を持ちながら挑戦を続けてきたDNAをつないでいくことで、当社グループが次のステージへと飛躍できるよう、弛まず歩み続けてまいります。